

## 11月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、龍ヶ崎市内に点在する神社仏閣などを歩いて巡る「龍ヶ崎、歩く歴史講座」開催についての情報提供です。

このイベントは、龍ヶ崎市の歴史的スポット 8 か所を巡る講座で、開催日は、12月5日となっております。

当日は、国・登録有形文化財である「旧諸岡家住宅煉瓦門及び屏」や「旧小野瀬家住宅店舗」、「旧小野瀬家住宅主屋」をはじめ、現在放送中の大河ドラマ「麒麟がくる」の主演、明智光秀とも関係のある、土岐氏の一族が戦国時代に拠点を構えた「龍ヶ崎城跡」や、最後の城主となった土岐胤倫の墓がある「大統寺」など、見どころ満載のスポットを巡ります。

感染症対策を講じ、新たな生活様式に沿った形で講座を開催いたしますので、楽しく歩き、学びながら歴史ある本市の魅力を再発見する機会となれば幸いです。

次に、龍ヶ崎市観光物産協会主催の龍ヶ崎の魅力を発見するスタンプラリー「龍ヶ崎まちめぐりスタンプラリーin 龍ヶ岡」の開催に関する情報提供です。

龍ヶ崎市の豊かな自然や地域資源を活かして作成した2種類のマップ「龍ヶ崎探訪マップ」で紹介されている施設やイベントを巡り、スタンプを集める内容となっております。

キャンペーンの実施期間は、12月1日から1月31日までの2か月間で、期間内にスタンプを5つ集め、同協会に応募していただいた方には、抽選で10名様に本市の物産品がプレゼントされるということです。

本キャンペーンをきっかけに、「豊かな自然環境」や「食の美味しさ」、「歴史」など本市の地域資源を再発見していただきたいと思いますので、ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

続いて、防災行政無線の夕方の時報メロディーを市内の子どもたちの選んだ曲へ変更することに関する情報提供です。

本市では、防災行政無線の動作状況を確認するため、毎日夕方に放送している時報メロディーを12月1日より変更いたします。

これは、令和元年度から令和3年度にかけて取り組んでいる、防災無線のデジタル化による設備更新に伴い実施するものです。

メロディーの選曲は、夕方の時報を帰宅の合図としている子どもたちの意見を尊重したいと考え、市内全小学校11校に通う小学3年生を対象にしたアンケートを実施し、一番評価が良かった「夕焼け小焼け」に決定いたしました。

小学生の皆さんが「自分がメロディー決めたんだ」と自慢して、家族に話すことで、防災行政無線が皆さまにとって、より身近で親しみのある存在になればと思います。

より多くの方に「わたしたちの」防災行政無線として認知していただくことで、特に災害時において、市民の皆さまが適切な行動を取るための情報ツールとしての役割を最大限に発揮することを期待しているところです。

12月には、子どもたちが選んだ新しい時報メロディーに耳をお傾げください。

最後に改めて、新型コロナウイルス感染症予防に関するお願いです。

本市では、市民の皆さまの努力により、感染者の増加が比較的抑えられていることに、あらためて感謝申し上げます。

感染予防対策は、自分のためだけではなく、家族や、職場の同僚、周囲の皆さんのためであると考えることが大切です。「和をもって尊しとなす。」私たちが誇るべき思いやりの心が、国内の感染を抑制してきたと言えるのではないのでしょうか。感染することは悪ではなく、戦うべきはウイルスです。自分は大丈夫、ではなく、いつ、誰が感染してもおかしくない状況で、自分が感染している可能性も想定し、周囲への思いやりを最優先に、日々過ごしていただきますよう、お願いいたします。

マスクや、こまめな手洗い、換気など、密集・密接しないといった基本的な感染予防はもちろんのこと、さらに厚生労働省が示す感染リスクが高まる「5つの場面」、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活などは極力回避してください。

一方では、これ以上社会経済を冷え込ませないためにも、店舗、利用者双方が「いばらきアマビエちゃん」を積極的に活用し、東京都が提唱する「5つの小」、小人数、小一時間、小声、小皿、小まめ、も一例として最大限に配慮しながら、特に気を緩めることがないよう、日常生活から意識を強めていくことを、お願いいたします。

これらの予防対策は、従来の季節性の風邪や、インフルエンザの予防にもなっていますが、予防接種や体調管理など、発熱しない心掛けも大切です。

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以降、初めての、今までにない冬を迎えます。

これ以上、感染を広げないためには、お互いへの思いやりを大切にしながら、一人ひとりの心掛け、取り組みが非常に重要になります。龍ヶ崎市でも、感染予防対策、そして経済的な支援などを引き続き進めてまいりますので、今までにも増して、力を合わせてまいりましょう。